

議 会 だ よ り



あがまち

No. 66
2021.11

バッタリソビツク開催

バッタソングメンね

- 発 行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112
新潟県奥蒲原郡阿賀町津川1580番地
- 発行責任者：議長 齋藤 秀雄
- メールアドレス：gikai@town.agai.jp

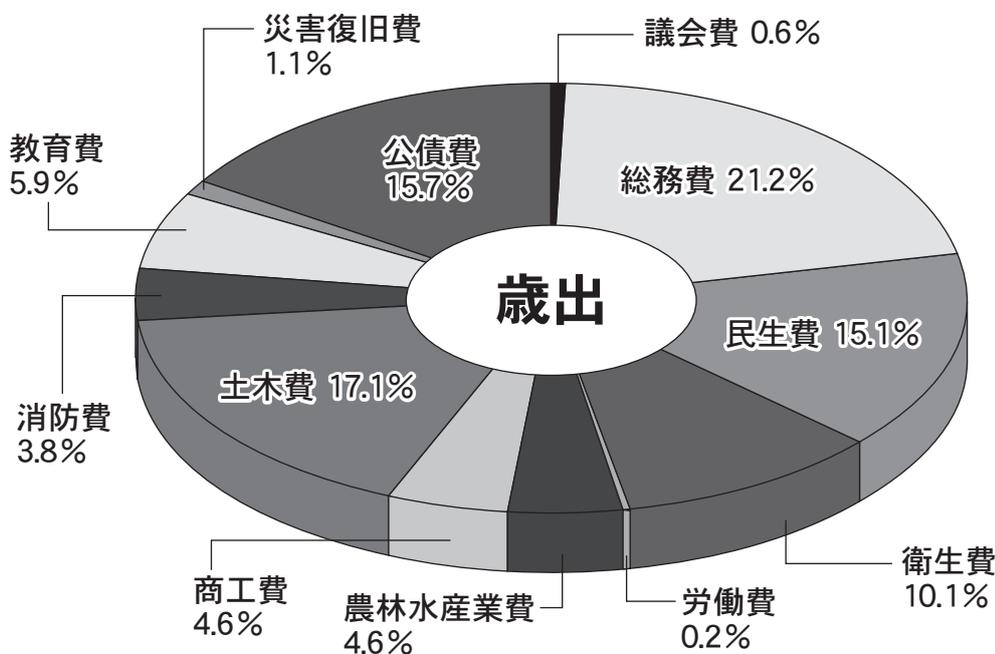


<http://www.town.agai.jp>
http://www.town-agai.jp/government/sectors/0114.html
阿賀町議会 2021.11

- 決算審査 2P
- 全員協議会 7P
- 一般質問 8P
- 団体紹介 20P

令和2年度決算審査 一般会計 132億円はどう使われたか

9月
定例会議



9月定例会議は、9月7日から16日まで10日間開かれた。会議では令和2年度各会計の決算や令和3年度一般会計補正予算のほか、特別会計補正予算3件、財産の取得、条例の改正など計21件と委員会発議2件を審議し、すべて原案のとおり決定した。

| 区分 | 歳入 | 歳出 | 形式収支 | 翌年度に繰越すべき財源 | 実質収支 |
|-------|------------|------------|----------|-------------|----------|
| 令和2年度 | 137億7768万円 | 132億4112万円 | 5億3656万円 | 1億3743万円 | 3億9913万円 |
| 令和元年度 | 128億9089万円 | 122億5795万円 | 6億3294万円 | 7681万円 | 5億5613万円 |

令和2年度決算〈歳入〉の主なもの

- ◎令和2年度歳入が増加した理由
⇒国・県より新型コロナウイルス関係交付金15億2770万円があった。
- ◎ふるさと納税寄付金が令和元年度6億8066万円であったが、2年度は3億8423万円減の2億9643万円にとどまった。その理由は新型コロナウイルス感染症の影響で全国の業務用米が安価で返礼品として出回り、阿賀町の米の需要が減少したためである。
⇒新たなサイト導入、米以外の特産品の模索を行う。
- ◎歳入の不納欠損額（必要な措置を行ったが結果的に税金等の徴収を諦めた額）が253万円あった。
⇒公平性の確保のため、的確な滞納への処分を望む。

令和2年度〈歳出〉の主なもの

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた内容
 - ①国・県からの交付金を住民への給付金・経済対策・感染症予防備品・設備の設置など有効な施策を打ち出し補正予算対応した。
 - ②当初予算で計上していた研修費・旅費等が執行されず減少した。
 - ③狐の嫁入り行列他町のイベントが中止になり、予算執行が行われなかった。（概ね2000万円減）



令和2年度注目事業

- 小中学校のGIGAスクール
※一人一人にタブレットの貸与
タブレット端末購入費
小学校 1795万円 中学校 1065万円
情報ネットワーク整備工事
小学校 3691万円 中学校 2512万円

令和2年度実施された主な事業

議会費 7893万円

総務費 28億285万円

- ・地域協力隊招致事業 3450万円
- ・移住定住促進事業 327万円
- ・生活交通確保対策事業 6790万円



移住定住奨励制度パンフレット

商工費 6億1251万円

- ・ふるさとワーキングホリデー事業委託料 1015万円
- ・第三セクター温泉施設管理費 5645万円



ふるさとワーキングホリデー募集パンフレット

農林水産業費 6億1228万円

- ・有害鳥獣対策事業 3197万円
- ・中山間地等直接支払事業 5439万円
- ・産地づくり推進助成金 881万円



産地づくり推進助成金 (エゴマ・自然薯等推進)

民生費 20億240万円

- ・きりん荘運営費 2億1169万円
- ・高齢者見守り事業 761万円
- ・放課後児童健全育成費 1745万円
- ・子育て応援祝い金 534万円

衛生費 13億3583万円

- ・母子健康診査・医療費助成事業 2471万円
- ・阿賀町クリーンセンター管理運営費 1億1329万円
- ・阿賀町汚泥再生センター管理運営費 1億5422万円

教育費 7億8258万円

- ・阿賀黎明高校魅力化推進事業 1927万円
- ・公民館施設管理費 1720万円
- ・体育施設等維持管理費 3315万円

労働費 3001万円

消防費 5億597万円

土木費 22億5827万円

- ・除排雪対策費 9億8466万円
- ・住宅管理費 1409万円
- ・道路橋りょう維持管理費 4547万円

災害復旧費 1億3753万円

公債費 20億8196万円

【特別会計決算】

| 特別会計名 | 歳入 | 歳出 | 差引額 |
|-----------------|-----------|-----------|--------|
| 国民健康保険 | 13億5830万円 | 13億2927万円 | 2903万円 |
| 後期高齢者保険 | 1億8804万円 | 1億8791万円 | 13万円 |
| 介護保険 (保険事業勘定) | 21億5159万円 | 21億4098万円 | 1061万円 |
| 介護保険 (サービス事業勘定) | 5432万円 | 5392万円 | 40万円 |
| 診療所 | 2億1189万円 | 2億1122万円 | 67万円 |
| 下水道事業 | 8億2721万円 | 8億2042万円 | 679万円 |
| 町営スキー場事業 | 7220万円 | 7213万円 | 7万円 |

【水道事業会計決算】

| | | 収入 | 支出 |
|------|-----|----------|----------|
| 水道事業 | 収益的 | 7億6853万円 | 6億3348万円 |
| | 資本的 | 4億8133万円 | 5億1136万円 |

【決算審査特別委員会報告】
本委員会は9月9日より15日までの5日間にわたり慎重に審査した。原案のとおり認定すべきものと決定した。決算審査においては、地域住民の意見、要望を十分踏まえた事務事業の執行と、安全・安心

な阿賀町づくりに努力されるよう要望したほか、歳入確保への更なる努力を要請したところである。

令和2年度決算審査特別委員会審議

Q & A

光ケーブルの利用拡大

Q 町の光ケーブルは宝の持ち腐れではないか。テレワークが叫ばれている今、見直しのチャンスではないか。

A 町としての利用は、ジョーンを構築するため、民間の通信事業者などとも検討する。

患者輸送バスの有効利用

Q 患者輸送バスが乗客無しでも走っている。テレビ電話で予約できるようにして空バスを無くせ。

A 発車地区の運転手であれば空バスは無くなるが、他地区の運転手だと連絡取れない場合もあり、発車地まで行く。今後無駄な運行が無くなるように検討したい。

保育園児の安全通園

Q 福岡県で保育園児が通園バスの中に取り残されて死亡するといふ痛ましい事故があった。阿賀町の対応は。

A コロナ対応で降車後の消毒時に車内確認徹底し、登園しない場合は保護者への確認を徹底している。



街路灯の経費節減

Q 街路灯の電力料金が大幅に安くなっているが、どういう理由によるものか。

A 40ワットの蛍光灯照明から10ワットLED照明に変えたため。今後も年に100灯ほどずつ変えていく。

いじめ、不登校を無くせ

Q 阿賀町の小中学校においていじめや不登校はあるのか。その実態は。

A 昨今、いじめ問題は非常に敏感になっているので軽微なものまで報告している。令和2年度において、いじめが38件、不登校が3件あった。

そばの栽培増を計れ

Q そばの栽培は計画した生産量と実収穫量は予定通りだったのか。

A そばの栽培は天候により左右され、令和2年は6.6haで2.7t収穫。今年は11ha弱の作付となった。



一般会計補正予算の主なもの

新型コロナウイルス関連補正

- 緊急経済対策事業……………150万円
(経営持続支援特別給付金の給付)
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金
交付事業……………3060万円
(飲食店の営業時間短縮協力に対する協力金)
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業
……………720万円
(新型コロナウイルスワクチン接種委託料)



7月大雨災害関連補正

- 町単農地災害復旧事業……………180万円
(八田蟹区農地、他1カ所)
- 町単農業用施設災害復旧事業……………520万円
(大沢前排水路、他10カ所)
- 林道施設災害復旧事業……………4500万円
(角神五十沢線、他1路線)
- 町単林道施設災害復旧事業……………1190万円
(荒戸沢線、他12路線200カ所)
- 河川災害復旧事業……………1500万円
(大沢河川災害復旧工事)
- 町単河川災害復旧事業……………150万円
(大沢河川災害復旧工事の測量・設計一式)

その他、主な事業補正

- テレワーク・ワーケーション促進事業
……………650万円
(まなびの森交流館改修工事 - 旧四季菜館)
- 有害鳥獣対策事業……………595万円
(電気柵等の補助金)
- 過疎地域持続的発展事業……………1610万円
(下記※参照)
- 一般中学校管理費……………310万円
(阿賀津川中学校の高圧電線ケーブル劣化による工事)
- 集落集会施設整備事業……………600万円
(太田集落集会施設整備工事)
- 情報ネットワーク管理費……………710万円
(伝送路移設等負担金)

※過疎地域持続的発展事業とは

中山間地において、どのようにドローンを活用できるかを実証実験する事業。具体的には次のような活用が考えられる。

- ・物流システム
- ・災害時の対応
- ・鳥獣害被害の対策
- ・農業の省力化

特別会計補正予算の主なもの

- 診療所特別会計補正……………500万円
(新型コロナウイルスワクチン接種に伴う経費)
- 介護保険特別会計補正……………930万円
(補助金等精算還付金)
- 下水道事業特別会計補正……………1040万円
(下水道施設維持管理の工事費等)
- 水道事業特別会計補正
(浄水施設の修繕費等) 収入 708万円
支出 1065万円



産業建設常任委員会

委員長 齋藤 栄



たきがしら湿原管理棟前にて

委員会活動レポート

総文社厚常任委員会

委員長 五十嵐 隆朗



みらい留学宿舍「緑泉寮」

管内調査

令和3年7月14日

【調査事項】

- (1) 町小中学校における授業環境の変化に伴う教室の対応について
- (2) G I G A スクール構想の現状について
- (3) 阿賀黎明高校「緑泉寮」の運営状況について
- (4) 町内各地区におけるゴミ分別収集の状況について

【調査目的と概要】

調査事項(1)～(3)については学校教育課を対象に、(4)については町民生活課を対象とし調査を行った。

【まとめ】

- (1) 入れ替える機のサイズアップについて教室の狭さ等、委員から指摘があった。担当課では人数を考慮し機のサイズを変更して対応し

ているとのこと。しかし学年ごとの人数変化を考えた時、機のサイズは統一する選択もあったのではないかと。調査にはセキュリティ面で不安を感じた。教員の負担が増し他の授業に支障をきたさないか疑問。G I G A スクールサポーターの早急な配置を望む。

(3) 良好に運営していると感じる。課題もあるがハウスマスターを中心に努力している。次年度も入寮生が多いことを願う。

(4) 区長会等で常に問題になり、事前周知が足りなかったのは否めないが現状は改善されてきた。今後も町民への分別作業統一化の徹底、丁寧な説明を望む。

管内調査

令和3年7月16日

【調査事項】

指定管理施設の運営状況

- ① 「たきがしら湿原」
 - ② 七福温泉「七福荘」
 - ③ 津川温泉「清川高原保養センター」
 - ④ 阿賀の里施設調査
- 【調査目的と概要】
- ① 4月末～11月末の開園で年間約8千人の来

園者があり、管理棟の補修工事が必要である。

- ② 4月後半の再開から6月末までに約3千人の入館、バンガロー共に順調。
- ③ 来館者数4月～6月平均3千人以上と例年並み。施設老朽化で配管施設の修繕が必要。
- ④ 船下りは減便運行しているが、乗船人数は大幅に減少。町内特産

品が少なく客の滞留時間も少ない。施設の老朽化が激しく外見上も誘客にマイナスである。

【まとめ】

- ① 老朽化部改修は町と連携し利用者の安全確保を。七福荘と連携したメニューの創出で両施設の集客増加を。
- ② 更なる集客に向け地域の観光資源と連携し線をつないだ資源活用

を望む。冬期間の閑散期には施設活用、飲食提供とともに新しいアイデアが必要では。

③ 温泉施設の配管修繕は早急な対応が望まれる。

④ 軒下施設の早めの撤去が必要。船下りは多種のアイデアで運行営業計画を望む。

全 員 協議会

6月定例会議以降左記の3日間、全員協議会兼議会改革推進会議が開催され、各所管課より情報提供があり、今後の町の重要施策について協議が行われた。

- 7月8日
- 8月11日
- 9月13日

JR津川駅無人化

阿賀町唯一の有人駅であった津川駅が10月1日をもって無人駅となり、町内全ての駅が無人化となった。

大変残念な結果となったが、観光の窓口として貴重な津川駅であるため今後の在り方を検討していきたい。



無人化となった津川駅

「緑泉寮」改修工事

清川高原保養センターにあるみらい留学宿舎「緑泉寮」において、2人部屋の増設や衛生面等の見直しが必要となったことや、ウッドシヨックによる木材価格の高騰などの資料が提示され、金額や必要性などの協議がされた。

まちなか巡回バス

10月1日より津川地区中心部と鹿瀬診療所を巡回して運行する「まちなか巡回バス」の実証運行が開始された。1日3便、平日の午前中のみである。福祉バスや路線バスなどと組合わせてうまく活用してほしい。

東川予約制バス

新潟交通観光バス(株)の路線バス廃止に伴い、10月1日より東川地区から津川地区中心部までの予約制バス(「デマンドバス」)の運行を開始した。

希望者は前日までの電話での事前予約が必要である。利用登録票で登録しておく、予約もスムーズになる。

この秋から

注目です!!

ドローンを活用した物流から始まる『スカイウェイサポート』実証事業をスタートさせる!

一部先進地でも導入されているドローン活用。買い物支援・有害鳥獣対策・処方箋や薬の配送など無限の可能性をもつドローンの実装飛行と検討会議が始まります。

その他の協議項目

- 県の特別警報発令による「飲食店の営業時間短縮要請」に伴う協力金の補正
- 経営持続支援特別給付金の補正
- 「阿賀の里ブランドデザイン」について
- 「全国古民家再生協会新潟県連合会との包括的連携に関する協定書」について
- (株)新潟麦酒事業計画
- (公財) 上川農業公社の財務諸表等について
- (一財) 三川農業公社の財務諸表等について
- (株)阿賀の里の財務諸表等について



いよいよ始まったまちなか巡回予約制バス



- ◆ **五十嵐 隆朗 議員** 9P
 ・ デジタル改革で阿賀町はどう変わるか
- ◆ **阿部 義照 議員** 10P
 ・ 阿賀町における「獣害（サル）対策」は
 ・ 阿賀町におけるマイナンバーカードへの取り組みは
- ◆ **斎藤 栄 議員** 11P
 ・ 有害鳥獣による被害防止安全対策は
- ◆ **山口 庫幸 議員** 12P
 ・ コロナ後の観光政策は
- ◆ **長谷川 眞 議員** 13P
 ・ 土砂災害防止対策は
 ・ コロナワクチン接種業務の成果は
- ◆ **宮澤 直子 議員** 14P
 ・ 移住定住促進事業の進捗状況は
 ・ 「健康寿命延伸」を進め、医療費の削減を
- ◆ **加藤 達也 議員** 15P
 ・ コロナ収束後に向けた飲食業・観光業の取り組みを問う
 ・ コロナウイルスの現状と今後の対応は
- ◆ **入倉 政盛 議員** 16P
 ・ 子どもの国保均等割負担の軽減を
 ・ 「コロナ減免」の利用状況は
 ・ 介護人材の確保と待遇改善を
 ・ 阿賀町公共施設等総合管理計画は
- ◆ **長谷川 良子 議員** 17P
 ・ 阿賀町消防団員の年俸を上げるべき
 ・ ごみステーションの置き場所は
- ◆ **長谷川 智 議員** 18P
 ・ 空き家対策を問う
 ・ 有害鳥獣対策の現状は
 ・ 高齢化による猫の多頭飼育崩壊を問う
- ◆ **齋藤 秀雄 議員** 19P
 ・ 観光施設の管理運営
 ・ 町活性化と人口減少対策は

11人の議員が質問

一般質問

町政を問う

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

デジタル改革で町はどう変わるか

町長… 様々な町の仕組みがかわる

五十嵐

国・県・町ではデジタル化を強

力に押し進めている。特にマイナンバーカード、GIGAスクールはすでにスタートしている。このことを含め町民に説明すべきではないか。

町長

デジタル化によって、既存の仕組みを抜本的に見直し、行政、産業、暮らし、各分野で価値を生み出すデジタルトランスフォーメーションを、方針と定め、部署を横断して、重点的、集中的に実行する。それらの情報発信を町民目線で発信、説明する。

五十嵐

デジタル化の鍵はマイナンバー

カード政策に尽きる。近い将来全ての個人データが入力される。健康保険証、お薬手帳など。令和6年度には運転免許証等のスケジュール案が示され、令和4年度末までに全国民が取得する発表もある。交付率の低い阿賀町の進捗状況を聞く。

町長

特に医療関係の情報共有しながら迅速に対応したい。スケジュール等、より確実に情報を入力し、マイナンバーカードの交付率を適切に早期に進める。

五十嵐

GIGAスクールでは、一人一

台タブレット端末、大容量の通信ネットワークを利用した学びが本格スタートした。教員の指導体制は整っているか。タブレット持ち帰りの紛失、故障、不適切なアクセスなどの不安については。

教員

タブレットの研究は令和2年度から実施している。スクールサポーター制度も活用していき専門家から学校訪問指導など教職員のレベルアップに努めている。セキュリティ関係は使用制限などの町独自のガイドラインを作成し対応



お いたからし たか 五十嵐隆朗 議員



タブレットを活用した授業(津川小学校)

る予定。

町長

高齢化の進んだ阿賀町においてデジタル改革を町民に説明し、理解してもらう。このような仕組みを構築し、幅広く住民を巻き込んで、デジタル化、IT化の推進を考えている。災害時などの情報は、町全世帯に光ケーブルが張り巡らされており、正確に早急に情報を伝えることもでき、情報の格差がなくなる。

五十嵐

役場庁舎内の体制は万全か。

総務課長

自治体クラウドが今、検討されている。町の対応は急務で先進地視察などし、細部は来年早々に始め

一般質問



あべよしてる 阿部義照 議員

獣害対策

サル対策の考え方

町長：頭数調整を積極的にやる

つてきたので、次年度2基導入し、旧町村各1基設置したいと考えている。

阿部

農作物を食べている里山のサルは、栄養条件も良いと

考えられることから年々数が増えてきている。電柵等で追い払う

だけでは増えていく一方である。猟友会と連携して「害獣駆除」に

より頭数を減らすことが必要だと考えるが。

町長

通勤の途中で幾つかの群れを見

かけ増えている実感を

持っている。追い払っ

ても次のところに行く。頭数調整を積極的にやらなければいけないと認識している。また、

猟友会の協力を頂かなければならない。

マイナンバーカードについて

阿部

マイナンバーカードの交付率は



マイナンバーカード

県等の補助制度は確立されていないが、制度設計の検討を行っている。

町長

町独自のクーポンに対する国・

阿部

分かりづらい国のポイント制度

も終わった。カードを作るメリットとして町独自の「クーポン券」を発行することを検討してはどうか。地域の消費意欲も図られる。

町長

国の考え、計画をしつかり町民に伝え申請して頂くことが必要だ。



大型檻(赤岩区)

町長

小型檻22基と大型檻2基。小型

檻の捕獲数は令和元年度134頭、2年度120頭。大型檻は昨年度途中から導入したこ

阿部

サルの群れの数はどの位か。

農林課長

現在、田畑に害する群れとして

29群れを追尾している。

これ以外にも群れは多くいる。推定値で令和元年から2年にかけておおよそ300頭ぐらい増えている。

阿部

サルのわなの数はどのようになっているか。

おおよそ活用状況はどのようになっているか。

阿部

阿賀町における獣害対策のうち

サル対策について、GPS発信機を取り付けたことよって、どのような情報を得ることができたか。

町長

群れの行動分析

追い払いや捕獲の位置情報が有効な情報となっている。町では年間300頭の個体数調整を目標としているが、この根拠としてGPSのデータを役立

クマによる人身被害防止を問う

町長…町広報等で情報発信し、集落周辺は緩衝帯整備を行う

齋藤

クマの餌となる
ブナやミズナラ
の凶・不作のため、ク
マが人里近くに出没す
る可能性を県が注意喚
起している。町の対策
を尋ねる。

町長

広報や被害対策
パンフレットの
配布等の情報発信や県
と連携しテレビ・ラジ
オ等で積極的に注意喚
起していく。

また、集落周辺を刈
り払い見通しを良くす
る緩衝帯整備の取り組
みをする。

教育

学童・生徒への
被害防止として、
目撃情報があれば、通
学路や周囲のパトロー
ルを行う。徒歩通学生



さいとう 齋藤 さかえ 栄 議員



野菜残渣はクマが狙う
保存野菜は厳重に保管

もバス通学ルート沿い
は臨時的に乗せる等、
臨機応変に対応する。

齋藤

山の実が不作と
なると、集落周
辺の野菜残渣がクマに
狙われ、不要果樹の伐
採が進むと、自宅周り
の保存野菜も狙われる。
また、朝夕の散歩や
ジョギングも危険であ

る。町民への注意喚起
は、危機感を持つてや
る必要がある。対策を
尋ねる。

町長

町民が被害に遭
わないよう周知
を図っていく。捕獲檻
の設置や、猟友会への
駆除の協力要請や対応
マニュアルの作成等取
り組んでいく。

イノシシ対策を問う

齋藤

県の発表では、
イノシシによる
水稲被害は、4年前の
11倍であり、生息頭数
は1万1千頭と予測し
ている。専門家は、千
頭が5年後は1万頭に
10年後は、13万頭に増
えると言っている。

イノシシの被害は多
岐で農地、林地の被害
は甚大で、自然災害も
招く。早急な対策が必
要だ。

町長

豪雪地でも越冬
することになり
厄介だ。農作物への被
害も大きく対策に急を
要する。有害獣対策に
ドローンの活用を検討
を進めたい。

齋藤

ドローン活用の
実証実験は各地
で行われているので進
めてほしい。

町議会は、先進地視
察研修を行い、当町の
サルのGPS監視シス

テムの導入と鳥獣被害
防止総合対策交付金の
活用を進言し実現した。
新潟県は他県に比べ
交付額が少ない。隣県
と連携して被害防止が
必要だ。町からも県に
積極的活用を促し、対
策を強化してほしい。

町長

有害獣対策は、
近隣町村が連携
して取り組む必要があ
る。町は、必要な予算
を配分いただけるよう
取り組む。

齋藤

有害獣対策は、
個体調整だけで
なく、活用していない
貸付地に実が成る広葉
樹を植え、野生獣の生
息地を山に戻す対策も
必要と思うがどうか。

町長

山に戻ることは
一番良いが、時
間がかかる。専門家の
意見を聞きながら研究
を進めていきたい。

一般質問



山口 くらゆき 議員
山口庫幸

観光政策

観光入込数、宿泊数などの目標値は

町長：長引くコロナ禍により見直しが必要

山

総合計画において年間観光入込数の目標値が100万人となっているが、この計画に変更はないか。

宿泊数の目標はあるか。総合計画は5年後の目標値であるが、達成するためには1年毎の計画が必要である。5年後に目標が達成できなかったと言われても町民は困る。

町長

計画を作った当時としては、コロナ禍がこんなに長く

続くことは想定していなかった。入込数については当然見直しをしなければならない。宿泊数の目標、1年毎の目標は必要である。

山

入込数等の目標に変更があるのであれば、町民全員で新たな目標に向かって進んでいけるように、早急に町民に知らせてほしい。
コロナ禍後の観光はどのように変わると考えているか。

町長

ワクチンの接種も進んで規制も緩和されれば、一気にお客さんが増加すると



上川地区の観光拠点として期待されている七福荘

山

コロナ禍後についてはいろいろな意見があるが、一致している見解は、新型コロナウイルスが完全に無くなるということはない。新型コロナウイルスのリスクを避けることに、気を使いながらの観光となる

という報道もある。インバウンドについても、阿賀町の自然環境、風景などは大きな魅力と考えているので、来ていただけるように進めていきたい。

山

私が議員になってからまだ4か月程度だが、民間と行政の考え方の差が大きいと率直に感じている。「阿賀の里」再建のためのランドデザインを作成を、再建の実施にまったく携わらないコンサルタントに約500万円もの予算で

民間的な考え方が必要

民間ではあり得ないことだ。計画は、実際に再建に携わる人が自ら作成すべきである。ぜひ民間的な考えも取り入れながら実施してほしい。

町長

民間と行政の価値観、考え方を一致させながら進めていかなければならない。



新潟方面から多くのお客さんが訪れる津川農林水産物直売所。隣接して総菜製造施設を増設工事中

古岐・綱木の土砂崩れ対策を早く

町長…優先的に進めている

長谷川

8月23日の三川地区の豪雨で、

昨年7月に土砂崩れのあった綱木地区と古岐地区の住宅裏を見た。

今回は被害がなく安心したが、この一年間、

町は危険除去のためど

のような働きかけを新

潟県に行ってきたのか。また県の対応はどうだったのか。

町長

現在両地区の現場とも耐候性の大型土のうにより増破の防止をしている。

新潟県に対しては現場を確認してもらい協議を行っている。又令和2年9月30日付で

「県営治山事業執行要

望書」を提出している。

長谷川

50年に一度、100年に一度と

いうような大雨が毎年日本の各地で起こって

いる。土砂災害の対応は新潟県の仕事と聞い

ているが、早く対策を取って欲しい。

町長

町としては県に要望書を採用してもらい、安心できる対策工事をお願いして



土砂崩れ現場(古岐区)

きた。県としては地山

というか地盤が安定し

ているとの判断がある。

町には土砂災害警戒地

域は351カ所あり、その中でも特別警戒区

域が202カ所あるが崩れたという実績がある現場であるから優先して対応してもらおう努力をしていく。

コロナワクチン接種の実績は

長谷川

阿賀町は新型コロナウィルスワ

クチンの接種率が県内トップクラスだ。町長

はこの実績をどのように考えるか。

町長

65歳以上のワクチンは一括配分

でもらった。その摂取が計画通りに進み、新

潟県から信頼されて12歳以上分のワクチンも

必要分が一括配分してもらった。これができたのは町民が接種に理

解を示し、やまぶきの里に足を運んでくれたこと、医療機関の皆様から協力ももらったこ

長谷川

子供達や2回接種済みの人が感

染した場合、症状が出ないことがある。その対策は。

町長

いわゆるブレークスルー感染も阿賀町で起こっている

が、町民の皆様には引き続き感染予防をお願いしていく。

教員

児童生徒に風邪の症状がある場合学校に連絡し出席停止とし、未然に感染を防ぐ対策を取っている。

先生方や保護者の皆様にもお願いしてる。



はせがわ まこと 議員 長谷川 眞



ワクチン接種

一般質問



みやざわ なおこ 議員 宮澤直子

移住政策

移住希望者にすぐ入れられる住居の準備を

町長：公営住宅の活用を検討する

宮澤 移住定住促進政策に対し本年度1933万円の予算を計上している。移住の相談、実績は現状でどうか。

町長 昨年度から移住者を2名委嘱し、希望者に対する相談や支援を行い実績もあげている。移住問い合わせは令和元年度20件、2年度が46件、今年度は8月末までで21件ある。実際の移住者は令和2

年度7世帯、本年度は現時点で6世帯ある。

宮澤 ホームページがリニューアルされたが、移住ページに

移住者の体験談や具体的な生活の紹介が必要ではないか。

町長 重要な指摘と考

宮澤 「人生の楽園」というテレビ番組は移住者の活動を紹介しているが、南アルプス市で「クライルガルデン」という農園の

ついた簡易宿泊施設が移住者のために準備されている。自然豊かな阿賀町でもこのような取り組みを行えないか。

町長 以前、取り組みをしたが継続しなかつた。現在は鳥獣

被害が深刻であるが、効果的な取組であると考える。

宮澤 移住の際にはすぐ入れられる住居が必要である。町営住宅の活用を検討すべきでは。

一人当たりの医療費は平成25年度で年間43万円、令和元年度は50万円に増加した。これは新潟県と比較して10万円ほど高い。介護認定率は22%で横ばいである。

宮澤 医師である渡邊昌さんの著書「食で医療費は10兆円減らせる」の中で食事により病気の予防が可能であり、それにより国の医療費削減が可能と提案している。特に

野菜・果物にはファイトケミカルと呼ばれる化学物質が含まれており、病気を予防する働きがある。阿賀町には新鮮な農作物があり、糀などの発酵食品も同様の働きもある。住民に知らせる取り組みを進められないか。

町長 学校給食や「食生活改善推進委員協議会」の活動を通じて啓蒙していく。

宮澤 歯周病がアルツハイマー病の原因の一つという報告がある。またスマホやゲームの影響で視力の低下も著しいが歯や目の健康は予防で防げるのでは。

町長 幼少期の検診や子育て支援センターを通じ保護者の方にも伝えていくところがあるが、引き続き知らせていく。



移住者のための住居として期待される町営住宅（松ヶ丘団地）

コロナ禍収束後に備えて、今やるべきことは

町長…アイデアを出し合い連携しながら、情報発信していく

加藤

今、飲食業・観光業はコロナ禍により疲弊している。

ただ、今だからこそやらなくてはならないことがあるのではないかと

コロナ禍収束後を見据えた活性化策の議論

・準備をしなくてはならないのではないかと考えるが。

町長

商工会員への経営維持支援特別給付金の支援や、もり阿賀ろうクーポンなどの配布をしたが、今後は様々な団体とアイデアを出し合いながら連携し、町からの情報発信も強化していく。

加藤

阿賀町観光の弱点はPRが足りない所である。事業者単体で努力しているの

で、町全体としての線として繋がる観光になつていない。

町長

まさにそこが一番重要な部分であると認識している。

加藤

様々な団体がある中で、どこかの手綱をとるかで、今後の流れも変わってくる。

町長

観光協会と町が連携しながら進めていく。

加藤

今までは上手く連携が取れていなかった印象がある。町にとっても事業者にとつても非常に大事で、

苦しい時期でもあるので、チャンスロスの無いよう密接な体制作りを望む。



七福の里観光マップ

コロナウイルスの現状と今後は

加藤

子ども達の感染がいじめなどの導火線にならないよう徹底してほしい。

教育

学校・保護者に配慮を強く要請している。

加藤

町民の不安は、ワクチンをいつ接種できるから、感染した時に受け入れてくれる病院があるのかに変わっている。

町長

地元の病院から重篤化した場合は新潟大学病院や新潟市民病院などへの上り搬送などで対応している。

加藤

妊娠されている方は不安と恐怖でいっぱいだ。

町長

病院・保健所・本人と町で連携を取りながら対応している。



かとう たつ や
加藤達也 議員

一般質問



いりくらまさもり 入倉政盛 議員

国保・介護

子ども国保均等割りの負担軽減を

町長：町単独では公平性の観点から慎重に判断

入倉 来年度から国は未就学児に限って国保均等割りの半額助成することになった。全国でも25の自治体が減免や負担ゼロの取り組みをしている。町としても国の実施を待たずに減額を実施し、均等割りゼロ、廃止にする考えは。

町長 町単独でなく日本全体の課題である。今秋予定されている国保制度改善強化全国大会に町村会とし

て、未就学児に限定せずに対象年齢の引き上げも含め地方全体の声として国に強く要望していく。町が独自に均等割りを軽減した場合の試算は18歳未満の世帯42世帯、被保険者は467名、必要な予算は年間120万円である。

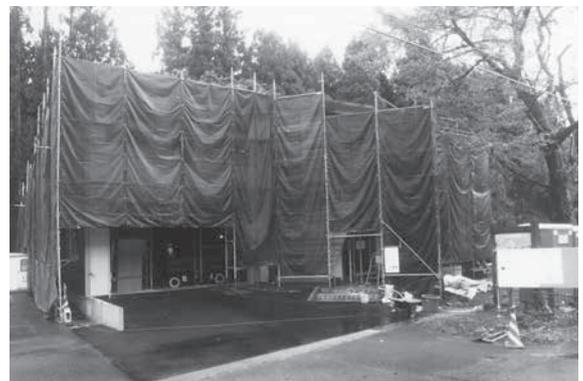
入倉 コロナ禍で仕事量が減る中、**介護人材の確保と待遇改善を**

人材不足をどのように解消していくのか。南魚沼市では介護施設の調査で実態を明らかにしている。それによると、労働条件の改善と介護報酬の引き上げが必要。地域雇用で一番伸びしろがあるのは介護と医療で公共事業ではないと調査結果が出ている。若者の雇用、離職防止、定着できる環境づくり対策は。

町長 介護人材の確保は非常に重要で

大きな課題だ。介護職員の処遇改善が一番必要と考えている。国にもっと処遇改善加算を行うことが必要だと町は県の介護保険策定委員会でも意見を述べている。

本年度は介護支援専門養成講座および介護福祉士実務者研修を開催し、17名の方が受講している。今後も各関連法人と連携を密にし、介護事業所の安定した経営を支援していく。



公共施設の赤湯体育館を榊新潟麦酒の蒸留施設に

阿賀町公共施設等総合管理計画は

入倉 管理計画は平成29年に策定された。総務省からは今年までに管理計画の見直しを求められている。町の現在の取り組み状況は。

町長 計画の策定にあたり、PDCAサイクルの推進方針やユニバーサルデザインなど新たな指針に基づく項目の追加は、専門コンサルタントの知

見を要する。6月3日委託契約を締結し、本年度末には改定の完了を予定している。

来年度以降、改定後の計画に基づいた実施事業には起債が充当可能で、充当率の一部が交付税算入されるなどの財源措置がとられる。公共施設等の適正な配置、効率的な管理につながる計画となるよう進めていく。



消防団員の待遇改善を

町長…来年4月の報酬改定を検討中

長

阿賀町消防団では団員の減少が続き、機材の老朽化も進み、10力以上の消防小屋の撤去が予定されている。

総務省は令和3年4月13日に消防団員の年俸3万6500円とし、災害出動時には1日8千円を自治体が団員に直接支払うなど待遇改善策をまとめ来年度から施行を求めている。活動経費と支給経費を分けて予算措置すべき。地域住民の生命と安全を守る消防団員に適切な対価を支給すべきだ。

町長

令和4年4月の改定引き上げに向けて具体的な検討を行っている。

長

過去から今まで具合は。の団員数の減り

消防本部長

15年前は994名在籍していたが現在553名。2年前に比べて定員数は70名減、実団員数50名減。消防団では組織機構の改編等を行い消防力の低下を招かないように対策を講じている。

長

消防団の待遇改善は今後予定しているか。

町長

ポンプ1台動かすために団員4

町長

人いるので再編せざるを得ない。地元の皆さんと一緒に相談しながら進めている。処遇という中では有事の際には駆けつけて町民の生命財産を守るので活動する服装・装備は他の消防団に負けない物を備えている。

長

今回総務省消防庁が改善策を発表し阿賀町も安心安全で暮らせるまちづくりを検討してもらいたい。

町長

国、自治体の消防団員の減少は大きな課題で阿賀町としても前向きに検討する。



は せ がわ り よ う こ
長谷川良子 議員



広瀬区消防器具置場

ゴミステーションの置き場問題

長

県道西津川線の西区では県道沿いにゴミステーションがあり、両手にゴミ袋をもって高齢者が曲がりくねったせまい県道を横断している。県道と言ってもせまい道路で若者がバイクで何台も通る時、危険なので人家のある所にゴミステーションを置いたらよいのではないか。

町長

ゴミステーションの設置は各区からの要望を受けて



西区ゴミステーション

と町で協議をし、土地所有者の同意を得たうえで設置している。その際、上限は7万円が50%以上の補助金が出る。また、ごみ出しが困難な人には町の社会福祉協議会で有償ボランティアの制度がある。地域の皆さんが日常の困っていることに対応できる5人以上の組織を作っているが町のPRも進んでいないので再構築し改めて呼び掛けて作っていかねばならない。

一般質問



はせがわ さとる 議員
長谷川 智

空き家対策

麒麟山温泉の倒壊家屋はどうする

町長：…早期の撤去を粘り強くお願いして行く

長

町営住宅の空き家をウィークリーマンションとして貸し出したり町に残って働く貴重な若者にプレゼントする様な試みは、できないか。

長

麒麟山温泉の潰れた一角は城山トンネルを抜るとすぐに広がる素晴らしい景色を台無しにしている。ここは県立自然公園内に位置し映画「ある船頭の話」でも重要な口ケ地となり阿賀町で一番の景観だ。町としての今現在の対応を伺う。

長

も所有者に対し早期の撤去をお願いしている。集客力のある赤湯と青少年旅行

村が8月から新経営体制になり今は新潟麦酒ウイスキー醸造所の工事も始まっている。この良い流れを止めないために冬を迎える前にさらに持ち主に対して早急な働き掛けを希望する。

長

近年、急激に増えているイノシシに対して綱木区で2年前から捕獲用の竹製の檻を作り一定の成果を上げている事を町は認識していたか。

長

メディアにも紹介された中山区多頭飼育崩壊について町としての考えは。

町

県と連携しペットを飼い始める皆様に不妊手術を最優先に行うよう勧めている。県でも手術費用の一部助成を行っている。町としても予算措置の検討を考えている。何より地元の皆様からの情報提供が重要だ。

町

町営住宅建設には国の補助金を利用しているため、使用目的の変更は出来ない。家賃に対する所得制限の縛りも併せて、もっと柔軟に対応できる様に状況を確認し、検討して行く。

町

まさに素晴らしい景観の中にあり温泉街の入口に位置し、私も本当に残念に思っている。町として



麒麟山温泉からの絶景

町

所有者も状況を確認しながら町として粘り強くお願いしている。

長

電気柵は設置後分の出来ない独り世帯に特別に補助金の比率を上げる事は可能か。

町

電気柵は設置後の維持管理が重要な。日々適切にできる事を補助金の要件としているため、行政区や農区として、まとまって電気柵を設置し維持管理も共同で行なう形で進めている。

長

有害鳥獣対策

有害鳥獣対策

の面からも製作者から話を聞きながら積極的に取り組んで行きたい。



綱木区のイノシシ捕獲用檻

猫の多頭飼育崩壊

指定管理制度運用は適正に

町長…運用基準の明確化をめざす



さいとう ひでお
齋藤秀雄 議員



NPOかわみなが運営する津川温泉

齋藤

「阿賀の里」「七
泉」「かのせ温泉 赤湯」
などは管理運用を適正
基準化しないと町支援
が増す可能性がある。
施設運営は福祉目的
で、財政支援するの
「上川温泉」の経験を
生かすことを考えてい
るのか伺う。

町長

観光施設は株主
である町が財政
支援して運営してきた。
今は民間受託者に指
定管理でしっかりと経
営をお願いしている。
制度の基準、管理協
定で受託者責任を守る
こと。町も管理、監視
していく。

人口減少・子育て

齋藤

婚活事業の進展
と子育て支援を
両立させていく方策と
多子世帯への支援策を
考えるべきだ。

町長

婚活はオンライン
で開催実施し
ている。子育て支援策
は指示し、多子世帯支
援策も検討させている。



町道新谷古岐線 古岐橋上部工事

公共事業拡大策は

齋藤

町事業の技術者
配置は適正な
か。
昨年の虚偽書類申請
に対し処分は適正であ
ったのか伺う。

町長

町民は公共事業に従
事し、農業・林業と活
躍している。事業の減
少は人口減少に直結す
る。町経済に寄与する
事業を拡大すべきだ。
町事業者は適正
に配置している。
昨年の虚偽記載行為
は町との信頼関係を損
ねる行為で、処分は発
注審査会で決定した。

地域おこし協力隊

齋藤

建設業の健全な発展
の阻害行為は適正処分
する。
町の大事な基幹産業
であり安全安心確保の
ために公共事業は必要
だ。農林業、観光全て
に関連する事業費の確
保に努力する。

町長

町は隊員との車
座会議など開催
して職員や町民との意
見交換をし、定住促進
に向け協力隊の活用に
取り組むべきだ。
個々に状況を掌
握しているが、
町民への紹介・周知が
されていない。
職員への刺激にもな
るので開催するように
指示する。
町民と交流を図り定
住促進に積極的に取り
組む。

第6回 阿賀町元気印☆団体紹介

このコーナーは阿賀町で活動している団体の紹介と町・町議会への率直な意見を掲載するコーナーです。

阿賀町暮らしネット

Q 会の設立経緯について教えてください

A 町営診療所(精神科)と老健施設で医師の仕事をしているなかで、阿賀町で生きがい・働きがいを求める人たちと、高齢で生活支援を必要としている人たちの間をつなぐ活動が必要だと強く感じました。

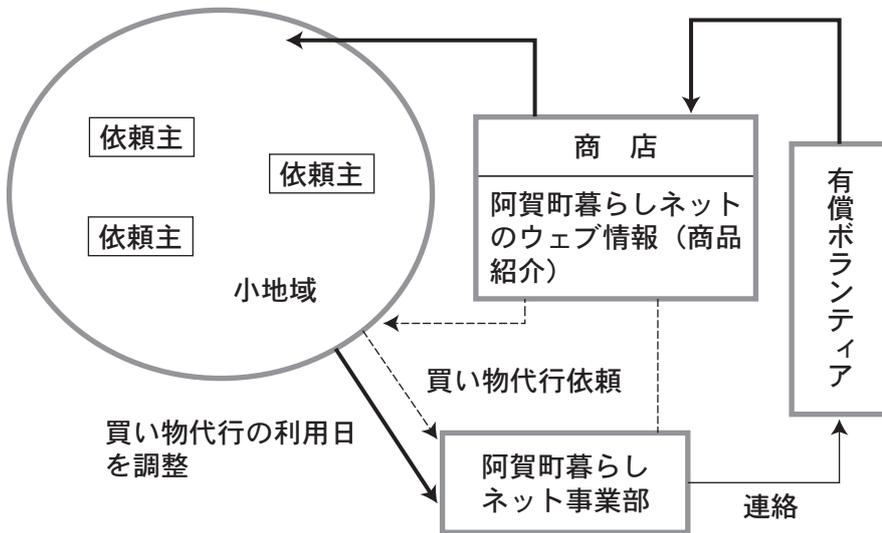
Q 会員数と活動実施日は

A 現在の会員数はまだ5名と少ないのですが、有償ボランティア活動(一定の謝礼をいただきながらのボランティア活動)を希望する人を募って、会員を増やしていきたいと思っています。活動は、生活支援サービスを求める人の規模に応じて随時実施します。

Q 会の活動内容について

A 有償ボランティア活動として現在は、買い物代行サービス(図を参照)と、スマホの使い方を教える活動をしています。詳しくは、阿賀町暮らしネットのウェブサイト(<http://www.it-meike.com>) 仕事・出会いのページと町のテレビ電話の広告をご覧ください。(連絡先 電話番号025-281-0519)

近隣の地域に3件以上の利用がある場合は、有償ボランティアが1件当たり250円で買い物代行



町・町議会への要望

高齢化が進む阿賀町でみんなが安心して暮らしていくためには、生活支援サービスの充実が必要です。それは、役場の力や介護保険制度だけでは不十分なので、住民の有償ボランティア活動でそれを補う必要があります。阿賀町暮らしネットでは、そのような活動を始めたばかりですが、町と議会のご理解・ご協力とご支援をお願いします。

阿賀町暮らしネットの代表 薄井 宏さんのお話

うつ病、認知症、ひきこもりといった「心の病」の背景には「社会的孤立」という問題が共通してあります。それを解決するためには、阿賀町に「人とのつながり」をもっと作り出す必要があります。阿賀町暮らしネットでは、有償ボランティア活動を盛んにしてさまざまな生活支援の活動を行いながら、阿賀町に「人とのつながり」を作り出したいと考えています。



議会だよりモニター報告

議会だより65号についてモニターの皆さんからご意見をいただきましたので、一部をご紹介します。なお、委員会からの回答も一部掲載させていただきます。

議会だよりアドバイザー

※議会だより編集作業の際、文章や写真の校正のアドバイスをいただきます。

山口冬人(写真)
高野善之(文章)
高橋真也(文章)

議会だよりモニター

※議会だよりを読んでアンケートに回答いただきます。

二瓶美代子
長谷川潤子
佐藤美佳
山口博信
清田周あまね
及川真央
神田さかえ
(順不同・敬称略)



「議会だより 65号」

1、表紙の写真について感想をお聞きます

○プールの写真がさわやかで夏らしい。
○全面写真はとても良い。

○表紙に今回最も伝えたいことをインパクトのあるタイトルや写真で表示したら良い。
○ベストなシャッターチャンスだが、子供の写真ばかりだと飽きる。

委員会からの回答

ごもつともな指摘と思います。町のイベントや景色の写真も使います。それでも幼児・児童の絵が多くなると思っています。

2、今回一番関心を持った記事は

| | |
|---------|----|
| 新議員の顔ぶれ | 5名 |
| 一般質問 | 2名 |
| 団体紹介 | 1名 |
| 全員協議会 | 1名 |

3、読みやすい記事

○新議員紹介
○議会、所属委員会の一覧表
○団体紹介はゆとりあるレイアウトが良い。

読みにくい記事

●事務組合等の役割が解らない。
●議会報告 5月会

議・全員協議会の記事が議事録みただ。

委員会からの回答

広報研修会の講師からも指摘がありました。今後なるべく小見出し

を有効に使って伝えたいことを端的に表現することに努めます。

4、レイアウトはどうでしたか

○町議会の構成図(委員会人事)は表になっていてわかりやすい。
○空きスペースが気になる。
○囲みは角丸にしたほうが良い。

○一般質問のレイアウトを工夫すべき。

委員会からの回答

4町村合併から16年の間試行錯誤して今の形になりました。今後検討します。

5、各記事の写真

○議会の写真でみんな下を向いている。はっきり見えるようにしてほしい。
○写真と記事がマッチしている 2名
○適した大きさで各ペ

ージにあるのもよい。
○見にくい写真は谷沢区の漏水。

6、こんな記事があったらいいと思うもの

○各地区の貴重な建物、行事や伝統を守る人や団体の紹介。
○町広報で掲載のない記事(過疎脱却や3セクの赤字脱却の取り組みなど)を特集で行ってほしい。

○町民の関心事(空き家対策・廃校利用・雇用創出・鳥獣被害の実態など)の特集記事。

7、全体を通じた感想

○町民の要望や不安について、各議員が議会外でしている具体的取組や町長・町職員への働きかけの実態を知ることができないか。
○町の現状を他の便りやビデオで伝えて欲しい。
○モニター報告で意見

が取り上げられているのがわかって良かった。
○団体紹介でコアな情報や情熱を持った人や団体を紹介してほしい。
○この議会だよりのページ数で議会に関心を持つてもらうのは難しいと思うが、色々な取り組みを行ってほしい。

広報研修会での指摘

令和3年9月30日に町村議会公報研修会が開かれました。その中で読みにくい記事の指摘の他に同じ言葉を重複使用しないことや億単位の数字を出すよりも、何の必要があつての金額なのかを知らせるべき。

何行分もの空白を出さない。見出しは簡潔になどの指摘を受けた。今後活かします。

地域と語る会

昨年は新型コロナウイルス感染症予防のため地域と語る会の代わりにアンケートを実施しました。本年もまだ終息が完全に見込まれない中、住民の皆様のご意見を伺う方法を検討しております。決定しだいお知らせいたします。

記事の訂正 前号議会だより12ページ齋藤栄議員の一般質問の中で「中山間地」を「山間地」と訂正させていただきます。

表紙の説明

10月3日、麒麟山公園を会場に阿賀町ファンクラブイベント「バッタリンピック」が行われ、大勢の子供たちがバッタを追い、取ったバッタでジャンプ大会をし、飛距離を競いました。(イベント終了後バッタを放しました)



県内10町村議会対象の広報研修会が開催され、本年は湯沢町、関川村、阿賀町が発表を行った。阿賀町は長谷川眞委員長が壇上にて広報広聴委員会の活動について発表した。午後からは元新潟日報記者である高岡信也氏による講演「議会報 住民と議会をつなぐ懸け橋に」が行われた。

広報研修会

9月30日

研修会報告

年2回開催の町村議員研修会の後期研修会が新潟市で開催。新潟大学副学長長戸邦久氏による講演「自治体政策立案の考え方」が行われた。

町村議会議員研修会 10月22日



出雲崎町議会が阿賀町を視察

10月5日阿賀町を来訪。阿賀黎明高校魅力化プロジェクト・みらい留学制度・NPOかわみななどについて視察研修を実施されました。



学校教育課より説明を受ける出雲崎町議会議員の皆様

12月定例会議のお知らせ

予定

一日程 12月14日(火)～

12月17日(金)

一時間 午前10時～

感染予防のため、人数を制限し、皆様の傍聴をお待ちしております。

皆様のご意見提言をおまちしています。どんどんお寄せ下さい。

【阿賀町議会】TEL 0254-92-3112 / FAX 0254-92-5725 / メールアドレス gikai@town.aga.lg.jp



委員長 長谷川 眞
副委員長 宮澤 直子
委員 入倉 政盛
委員 山口 庫幸
委員 加藤 達也
委員 長谷川 智

広報広聴常任委員会

広報広聴委員会に在籍して3年目を迎えています。9月に開催された広報研修会では県内他町村の議会だよりを拝読しました。

阿賀町議会で本年1月より導入のアドバイザーおよびモニター制度については、県内では新しい試みで、他町村からの質問も多数寄せられました。また講師のお話の中で「たより」とは作り手の一方通行ではなく、相手に内容を届け、また意見をもらい双方意見を交換する目的にして作るものというアドバイスをいただきました。納得したところです。町民の皆様にとつて読んでいただける議会だよりをめざし、委員会一同作成していきます。

(宮澤直子)

編集後記

ホームページURLでも本会議の会議録が閲覧できます。ご活用下さい。

<http://www.town.aga.niigata.jp/>